市保連だより

2022
（９月）
［第５１７号］

令和４年9月１日発行
一般社団法人熊本市保育園連盟

発行責任者　上　野　誠　之

調査広報委員会

委員長　今村　弘之
委員　宇治　正信　緒方　隼人
沖田　照生　角田　信也
豊田　亮

〒860-0004 熊本市中央区新町 2-4-27
熊本市健康センター新町分室２階
TEL(096)322－0096

未来を担う子どもたちのために　熊本市健康福祉局　局長　津田 善幸

熊本市保育園連盟の皆様方には、日頃より、本市の教育・保育の推進につきまして格別のご尽力を賜っており、心から感謝申し上げます。

さて、本市におきましては、「熊本市こども輝き未来プラン」に基づき、「子どもが輝くまち　くまもと」の実現に向け、貴連盟はじめとする関係機関と密に連携し、また各園関係者の並々ならぬご尽力のお蔭もあり、乳幼児期における質の高い教育・保育の総合的な提供、地域の子育て支援等々の取組みを順調に進めているところでございます。

もとより、子どもたちは将来の熊本そして日本を支える大切な宝でございます。子どもたちが健やかに育つためには、社会をはじめとする子育てを取り巻く環境に様々な事情がある場合であっても、あらゆる方々ができるだけ不安が少ない状況で関わっていけるよう、より良い子育て環境に向けて取組む必要があります。

今後も、誰もが安心して子育てできる環境づくりに努めてまいりますので、更なるご協力をお願いいたします。

就任ご挨拶　熊本市保育幼稚園課　課長　岩下 敏和

熊本市保育園連盟の各園の皆様方におかれましては、日頃より、本市の教育・保育の推進に格別のご尽力をいただき、心より御礼申し上げます。

今年 ４ 月の定期異動により、熊本市保育幼稚園課長を拝命いたしました。不慣れな面ばかりではありますが、保育行政に鋭意取り組んでまいりますので、皆様方のご指導のほどよろしくお願いいたします。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う一部休園や登園自粛要請については、皆様方の多大なるご理解とご協力をいただいたと伺っております。改めまして、厚く御礼申し上げます。

本市では、従来から待機児童対策について「保育の受け皿の確保」、「保育の担い手の確保」、「入所事務の改善」の3つの柱を中心に取り組み、令和 ４ 年度においても待機児童ゼロを達成することができました。本市が掲げる「誰もが安心して子育てできる環境づくり」に努めてまいりますので、今後とも、なお一層のご協力をお願いいたします。

夏のとりくみ　ひむきこどもえん

先日、3 年ぶりとなるお泊まり会を行いました。子どもも保護者も職員も、ワクワク、ドキドキ…。「何をしようか」、「何を食べようか」、子どもたち みんなで話し合いました。「7 月は七夕があるね」、「星空・・・プラネタリウムを見に行こう」と決まりました。

そのあと、江津湖に行ってお弁当を食べ、川遊びをしました。園に戻ってからは、夕食のカレー作りです。お米を研いだり野菜を切ったり、初体験で、おそるおそるのチャレンジです。夕方にはシャワーを浴び、汗を流したものの、室内ゲームで盛り上がり、大興奮で 1 日が終わりました！ この 2 日間は、友達と 24 時間以上一緒に過ごすワクワク感と親元を離れる不安との狭間で、子どもたちには複雑な心境が垣間見えました。でも、お友だちがいるから弱音を吐かず、お泊まりを終えて帰る時には、家族との再会の笑顔がまぶしく、心がじーんとした瞬間でした。こうした経験は、コロナ禍の中でも出来る限りさせてあげたいと思います。

夏まつり会　城山保育園

夏の風物詩の夏まつり。当園では、以前は夕方から保護者の方と一緒に参加するスタイルでしたが、参加できなかったり、やりたいゲームができなかったりする様子が見られたので、園のすべての子どもたちが同じように経験できるものは、と考え10年程前より保育時間内に行うようにしています。

当日は雰囲気を感じるような浴衣等で登園し、保育室にわなげ、射的、金魚釣り、盆踊りなどいろいろなブースを設けています。子どもたちはクラスの垣根を越え、行きたいブースに行きお友だちや保育者と一緒に楽しみます。お気に入りのブースには何度も足を運ぶ子どももいて満足気です。お昼には焼きそばを鉄板で焼き、いいにおいに誘われて昼食を心待ちにしている子どもたちの姿が見られます。保育時間内に行うことで一日を通して夏まつりの雰囲気を味わい過ごすことができています。季節ならではの活動を子どもたちが経験し、楽しめるよう、職員でアイディアを出し合って行っていきたいと思います。

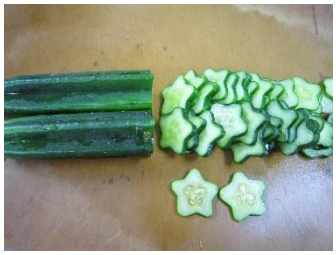
夕涼み会がちびっ子夏祭りに　明星保育園

毎年行っていた夕涼み会が、コロナの蔓延でここ数年開催することができずにいましたが、今年は保護者会の要望で、開催の準備を進めてきました。園児のための盆踊り、金魚すくい、ゲームラリー等、そして保護者のためのビアガーデン（年に一度だけお酒の飲める日）や、屋台等を行います。夕方６時の開始に、父母・祖父母・兄弟などを含めると500名からの賑わいとなります。園内だけでは足りず、隣のお寺の境内まで利用しています。

しかしながら、７月に入り熊本県内のコロナ感染者が徐々に増えだし、ついには、過去最大数の陽性者が出て、まだまだ収まる気配すら見えない状態では、夕涼み会の翌週の保育にも支障が出そうと、職員会議を重ね、断念することとなりました。保護者からの落胆の声を多く聞き、夕涼み会を、ちびっ子夏祭りに切り替え、準備ができている物を使って、園内で園児だけで行うこととしました。早くコロナが終息し、園児と保護者が共に過ごせる夕涼み会の開催ができる日が待ちどおしいです。

栄養豊富な夏野菜　寺原保育園

今年も夏がやってきました！夏バテを防止するパワーを秘めた“夏野菜”。キュウリにトマト・ゴーヤ・オクラ・パプリカ。おいしい野菜を育てるために春から土作りを始め、今ではたくさんの夏野菜を収穫できるようになりました。



積極的に食べて、暑さに負けない体作りを目指し、子ども達と様々な取り組みを楽しんでいます。毎朝緑のカーテンの下で野菜を収穫。実にハリがあって大きく太っておいしいものが次々とでき給食室へ「ごつごつだ」「星型になってる」「チクチクした」と言いつつも、笑顔で配達してくれます。運ばれた野菜は、その日の献立にプラスされ、天ぷら・和え物で出てきますが、野菜が苦手な子も自分で収穫した野菜は格別。「先生おいしかった！」と嬉しそうです。また、大きくなりすぎたり、虫さんが食べてしまった野菜はスタンプとして大活躍！色とりどりのかわいい Ｔ シャツ模様に変身です。おいしい夏野菜を美味しく食べて、厳しい夏を元気にそして楽しくすごしていきます。

コロナ禍で始まった水遊び祭り　黒髪幼愛園

近年、コロナの影響でプール遊びができない年が続いています。そこで、子どもたちに夏の遊びを味わい楽しい思い出を作りたいとの思いで「水遊び祭り」を始めました。期間は７月から８月までの毎日です。できるだけ密を避けるために職員間で話し合い「3つから4つぐらいのコーナーを用意する」「0・1・2歳、3・4・5歳で曜日を分ける」「学年ごとで時間を分ける」ということを共通理解しました。準備したコーナーは、泡・氷・色水・水鉄砲・ミストシャワー等です。また、保育士が考えた遊びも週に1回入れるようにしました。

子どもたちは自分で選んで好きな遊びを楽しむことができます。いろいろな感触を味わい、経験することができます。プール遊びだけでは見られなかった子どもたちの表情を見ることができました。

今年度、クラス毎で週に1回のプール遊びをしています。引き続き「水遊び祭り」も行うようにしています。できなかったことへの修正ではなく新しい保育活動作りに私たちもワクワクしています。子どもたちの好奇心に溢れた表情がいつまでも見られますように。

９月の予定

キャリアアップ研修 （食育・アレルギー対応Ⅲ）	９月　３日(土)	くまもと県民交流館パレア 会議室１
キャリアアップ研修 （幼児教育Ⅰ）	９月　４日(日)	くまもと県民交流館パレア 会議室１
理　事　会	９月　６日(火)	熊本市国際交流会館 3F 国際会議室
園　長　会	９月 15 日(木)	熊本市国際交流会館 6・7F ホール